

会 議 録

会 議 名	令和5年度第1回東松山市子育て支援センター運営委員会					
開 催 日 時	令和5年10月31日(火)			開 会	14時00分	
				閉 会	15時45分	
開 催 場 所	東松山市子育て支援センターソーレ きりん1・2					
会 議 次 第	1 開会 2 委嘱状交付 3 挨拶 4 委員紹介 5 会長及び副会長の選任 6 協議事項 (1) 東松山市子育て支援センター運営委員会について (2) 東松山市子育て支援センターソーレ・マーレの管理運営について 7 その他 8 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	0人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	大塚 綾子	出席	委 員	川上 さやか	出席
	副会長	杉浦 裕美	出席	委 員	原口 智美	出席
	委 員	堀 綾	出席	委 員	柿田 和子	出席
	委 員	小高 淑美	出席			
事 務 局	子育て支援課長 大石 和夫					
	子育て支援課主査 飯塚 規文					
	マーレ所長 平塚 千寿加					
	ソーレ所長 北村 満子					

次 第	顛 末
1 開 会	事務局：飯塚主査
2 委嘱状交付	事務局：大石課長
3 挨拶	事務局：大石課長
4 委員紹介	
5 会長及び 副会長の選任	<p>(事務局：飯塚主査)</p> <p>続きまして、本日が初めての会議となり、現在、会長、副会長が不在となっておりますので、ここで選出させていただきます。期間としましては、委嘱期間と同様となり令和7年9月30日までとなります。</p> <p>会長におかれましては、会議を収集し、会務を総理することになり、その進行や取りまとめを、副会長に置かれましてはその補佐をお願いいたします。</p> <p>なお、「東松山市子育て支援センター条例施行規則第10条により、会長、副会長は委員の互選で定める」となっております。</p> <p>会長、副会長について、ご意見はございますでしょうか。無い場合は、事務局案を提案させていただきたいと考えております。</p> <p>無いようでしたら、事務局案を提案させていただきます。事務局案といたしましては、会長を大塚委員、副会長を杉浦委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>—異議なし—</p> <p>それでは、大塚委員に会長を、杉浦委員に副会長をお願いいたします。恐れ入りますが、大塚会長は会長席に、杉浦副会長は副会長にご移動をお願いします。</p> <p>なお、大塚会長にご挨拶をお願いいたします。</p> <p>(大塚会長) 就任挨拶</p>

<p>6 協議事項</p>	<p>(事務局：飯塚主査)</p> <p>ありがとうございました。議事に入る前に、資料確認及び会議の運営方法について説明をさせていただきます。</p> <p>—資料確認—</p> <p>次に会議録の署名でございますが、東松山市審議会等の会議の公開に関する要綱の規定により、会議録には会長が指名した2名以上の委員の確認が必要とされております。本会議で会長の指名した2名の委員に会議録の署名をお願いすることになりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>3点目は会議の公開でございます。「東松山市情報公開条例」の規定により審議会等の会議は原則公開となっております。会議の公開又は非公開の決定は会長が委員に諮って行うものとされております。</p> <p>それでは、議事に移らせていただきますが、子育て支援センター条例施行規則第10条第2項により、会長が会務を総理することになっておりますので、大塚会長に議事進行をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p> <p>(大塚会長)</p> <p>それでは、議事に入らせていただきますが、その前に2点、議事録の署名委員と会議の公開について確認させていただきます。</p> <p>まず、本日の議事録に署名いただく委員を指名させていただきます。小高委員と原口委員にお願いいたします。</p> <p>次に、会議の公開についてですが、本日の協議事項は、非公開とする協議事項はなく、公開としたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>—異議なし—</p> <p>(大塚会長)</p> <p>それでは、本会議は公開とします。</p>
---------------	--

事務局にお伺いしますが、本日は、傍聴希望者はいますか。

(事務局：飯塚主査)

本日はおりません。

(大塚会長)

それでは、議事に進みたいと思います。

議事の(1)東松山市子育て支援センター運営委員会について、事務局より説明をお願いします。

(事務局：飯塚主査)

—資料1について説明—

(大塚会長)

この件について、何か皆さんからご質問等がありますか。

無ければ、議事の(1)東松山市子育て支援センター運営委員会については以上とします。

次に、議事の(2)東松山市子育て支援センター ソーレ・マーレの管理運営について事務局より説明をお願いします。

(事務局：北村所長)

—資料2の1～4頁に基づき、ひろば事業について説明—

(大塚会長)

ありがとうございます。ここまでで、皆さんから何か質問等がありますか。

無いようですので、次の説明をお願いします。

(事務局：平塚所長)

—資料2の5～8頁に基づき、つどい事業、相談事業、情報提供事業について説明—

(大塚会長)

ありがとうございます。ここまでで、何か質問はありますか。

無いようですので、次の説明をお願いします。

(事務局：北村所長)

—資料2の8～10頁に基づき、子育て支援事業、地域交流事業について説明—

(大塚会長)

ありがとうございます。ここまでで、質問・意見等ありましたらお願いします。

人気の、0歳児の仲間づくりはどのように参加者を募集されていますか。また、申込みは先着順ですか。

(事務局：北村所長)

募集は、市の広報紙に掲載し、また、行事予定表に掲載しています。申込みは先着順で受付けています。人気の講座なので、申し込もうと思っている人には早めに申し込んでね、と伝えていきます。

(大塚会長)

ありがとうございます。リサイクルバザーもいい企画ですね。おさがりは時代的にもコロナ禍もあったのでなくなりつつあると思いましたが、子育ての公共施設で開催してもらうことで、きっかけを作っていただきましたね。物を選べる年齢のお子さんが来ましたか。

(川上委員)

リサイクルバザーにもらい手として参加しました。おもちゃや衛生用品、洋服などがあり、もらったけど着なかった服や、使わなかった物を他の人に再利用できるのはよい企画だと思います。また、子どもが好きな車のおもちゃなど、子どもが好きな物もありました。

(大塚会長)

子どもも物を選べる機会があるのはいいですね。保育園でもリ

サイクルバザーを実施していて、物を持ち寄ったお母さんも「次この子が着るんだ」と喜ばしくなったり、交流に繋がるよいきっかけになりますね。実施が定着して皆さんが参加されるとよいですね。

他にご意見などありますか。無いようですので、次の説明をお願いします。

(事務局：平塚所長)

—資料2の11～12頁に基づき、オンライン事業、新型コロナウイルス感染症への対応、防災、みんなの声聞かせてBOXに投函されたご意見について説明—

(大塚会長)

ここまでで質問・意見等ありましたらお願いします。

保育園内の地域子育て支援拠点でも、ソーレ・マーレと同じく昼食の飲食は再開していません。保育園の給食が運ばれることで、拠点を利用している親子が「お昼ご飯の時間だから家に帰って食べようか」と言って帰られます。夢中になって楽しく遊ぶこともよいことですが、小さいお子さんは生活リズムを整えることが大切かと思えます。昼食を再開するか悩むところですが、利用者としてどう思っているか知りたいです。

(小高委員)

私は子どもに「ワイワイタイム・にこにこタイムが終わったら帰ろうね」と伝えて、11時30分ごろお昼ご飯を食べています。確かに、昼食が取れるとなると帰りにくくなるかと思えますが、その反面楽しそうだなと思えます。もし再開した場合、3回に1回は館内で食べて帰ることもよいかと思います。

(事務局：平塚所長)

メリット・デメリットがありますよね。他の子はどのようなものを食べているのかなどを知る機会がないことが、デメリットかと思えます。以前は、昼食だけでなく、おやつを食べる時間もありました。現在、午後は14時から開館ですが、今後13時から

開館にした場合、おやつ食べる時間が欲しくなってくることを想定しています。昼食を遅くすることでおやつを取らないように工夫している利用者も中にはいます。コロナ禍前とコロナ禍、両方のよさを兼ねそろえた方法に課題を感じています。

(小高委員)

私は、ソーレ・マーレだけでなくほっこりカフェにも行っているのですが、食べる時間が再開して、お菓子を食べたりした際、子どもは嬉しそうでした。

(川上委員)

私もコロナ禍での出産ということもあり、現在、消毒時間がある状況は安心して利用できています。コロナ禍前のお話を聞いて、昼食を館内で取るよさもあるかと思いますが、まだ不安な面もあるので、もし再開できるのであれば、イベント時に月1日ほど再開する方法でもよいかと思います。また、12時と16時30分に終わりのチャイムが鳴ることにより、子どもも片付けの時間だとわかってきたこともあるので時間を区切ることのメリットもあるかと思います。

(大塚会長)

親としては、どのタイミングなら切りよく帰れるかが重要ですよ。子育てサロンのほっこりカフェはどのように飲食を再開していますか。

(杉浦副会長)

ほっこりカフェは10月から飲食を再開し、元民生委員が作ったご飯やお菓子を一人分ずつに分けて、その場で食べてもいいし持ち帰って食べてもよいとしています。割とその場で食べていたと思います。ほっこりカフェは10時から11時30分までなので、食べてまた遊んだら終わりの時間になります。嬉しそうに食べてくれたり、また飲食しながらおしゃべりすることで話が弾んでいます。コロナ禍はただ遊んであまり話さず帰ることもあったため、交流のきっかけにもなっているかと思います。

(大塚会長)

飲食を再開している場もあり、ソーレ・マーレのようにたくさん遊べる場所もあり、利用者が使い分けできるので、今の状況はよいかと思います。

(原口委員)

私がソーレ・マーレを利用していた時は、館内でお昼を食べて14時ごろに帰って、その後は家に帰って子どもに昼寝をしてもらっていました。

子どもが小さい頃はなかなか他の子の食事風景を見る機会がないと思うので、他の子の食事を見ることでこのようなものを食べているんだと知るよい機会になるかと思います。

(大塚会長)

あの食器どこで買ったんだろうとか気になりますよね。

東松認定こども園げんきの地域子育て支援拠点はいかがですか。

(堀委員)

畑で取れたものをその場で食べたり、誕生会ではおやつ作りをしています。イベント内容は事前にInstagramで告知しているので、参加したいと思った人が来てくれています。すべての施設が同じ方法でなくても、利用者が利用したい施設を選んでもらうことで、いろいろな方が利用しやすくなるかと思います。そのため、ソーレ・マーレは引き続き感染症対策を行っていてもよいかと思います。

(柿田委員)

飲食の考え方は個人差がありますよね。私には孫が2人いるのですが、健康面を考え、また虫歯を防ぐため、お菓子は食べさせないようにしているみたいです。

(大塚会長)

そのような考えの家庭もあると、初めて食べる子どももいますね。

他にご意見などありますか。それでは、次の説明をお願いします。

(事務局：平塚所長)

—資料2の13～16頁に基づき、令和5年度年間事業実施報告、入館者数、利用者統計について説明—

(大塚会長)

ありがとうございます。以上の内容で、ご質問・ご意見ありますか。

(川上委員)

プレママパパ見学会は保健センターと連携されていますか。

(事務局：平塚所長)

保健センターには周知に協力いただいています。プレママパパ見学会以外にも、ソーレ・マーレの周知に関して母子手帳に挟んでもらったり、妊娠7か月ごろの時にお渡しする書類と併せてプレママパパ見学会のチラシなどを挟んでもらったりしています。

(川上委員)

コロナ禍での出産だったこともあるからか、保健センターで母子手帳を交付してもらった時、ソーレ・マーレを案内してもらっていましたが、どういった施設なのかわかりませんでした。多胎児ということもあり外にあまり出かけられませんでした。出産して半年たってから施設を利用したとき、「こんなよい施設があるんだ、もっと早く知っていればよかった」と思いました。さらに、妊娠中にプレママパパ見学会を通してソーレ・マーレを知っていればもっと早く利用していたかと思います。

また、ソーレ・マーレのHPを見ましたが、子どもが実際に遊んでいる写真が掲載されているとイメージしやすいと思いました。

(事務局：平塚所長)

マーレの見学会に来てくれた方は散歩がてらに参加したとのことでした。さらに多くの人に見学会に来てもらえるような方法を考えたい。

(柿田委員)

愛育班として活動していると、お母さんから同じ年齢くらいの赤ちゃんが近所にいるか聞かれることがあります。同じ年齢くらいの赤ちゃんが近所にいたとしても愛育班としては守秘義務上伝えられません。ソーレ・マーレは土日開館していますし、同じ年齢くらいの子がいるので情報交換ができるのでよい施設ですよ。

(事務局：平塚所長)

子育て支援課としては切れ目のない支援を検討されていたりしますか。

(事務局：大石課長)

来年度から、こども家庭センターという新たな部署を設置する予定で、妊婦さんから出産・子育てまで、切れ目のない支援をしていく予定です。子育て支援課と保健師のいる健康推進課と綿密な連携を図り、子育て支援に向けた施策に取り組んでいきます。その施策の中でソーレ・マーレのことを周知していければよいと思っています。

(大塚会長)

プレママパパ塾では映像とかが使われていると思うので、最後にソーレ・マーレ施設の紹介映像があるとアピールできるかなと思います。

(杉浦副会長)

利用者のリピーター率はどれくらいですか。

(事務局：平塚所長)

算出はしていませんが、市内在住はリピーター率が高いかと思えます。実家が近くにある方より、どこにも頼り手がないの方がリピーター率が高いかと思えます。子どもが1歳過ぎると、お母さんの気持ちも落ち着いてきたり、他の遊び場にも行きやすくなるため、リピーター率は減っているかと思えます。しかし他の遊び場からソーレ・マーレを再び利用するリピーターもいます。スタッフが顔を覚えているので、久しぶりに利用されるリピーターに「どうしてた？」など声かけをしています。利用者の必要に応じて遊び場を選べるのがよいかと思えます。

(杉浦副会長)

遠い人は利用しづらいですもんね。車がないから子育てサロンに行けないという人もいますね。

(事務局：平塚所長)

高坂の方がベビーカーで来る人が多いかもしれません。

(事務局：北村所長)

2月に利用者に配布するアンケートで、週何回ほど利用されているのか集計する予定です。

おおよそですが、1歳ごろまでは週3、4回ほど、公園などで遊べる年齢になってくると週1回ほど利用している方がいます。

(大塚会長)

なかには、コロナ禍に生まれてから2年間、ソーレ・マーレを一度も利用したことがなく、初めて外出して、仲よし保育園の地域子育て支援拠点に来た方がいました。

コロナ禍で孤立した方がどれくらいいるのか気になっています。乳幼児健診で、ソーレ・マーレ行ったことがあるか聞いてみるのもよいかもしれませんね。

	<p>(事務局：平塚所長)</p> <p>ソーレ・マーレでのアンケートは、すでに利用されている方なので、保健センターで調べていただき、利用されたことがない方に案内していけるといいかもしれないですね。</p> <p>(事務局：大石課長)</p> <p>子育て支援課から働きかけができるかどうか確認してみます。</p> <p>(柿田委員)</p> <p>私の近所の方は、近くの人と交流したくないという理由なのか他の理由なのか不明ですが、家から近いソーレより、あえて遠いマーレを利用されています。</p> <p>(事務局：平塚所長)</p> <p>ソーレが設立して18、19年になるので、設立当初、保護者だった方が祖父母になり、子どもだった方が保護者になる方もいるので、久しぶりに利用してみようと思って遠い施設を選んでいただいている可能性もあるかもしれないですね。</p> <p>(大塚会長)</p> <p>お母さんの気分でソーレ・マーレを選んでいる可能性もありますし、子どもも大きくなるとソーレかマーレ選べるようになりますよね。バスなどの交通機関がより便利になりソーレ・マーレに行きやすくなるといいですね。</p> <p>他にありますか。無いようですので、これにて議事を終了とします。たくさんご意見いただきありがとうございました。</p>
7 その他	
8 閉会	(事務局：飯塚主査)
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和5年12月1日 署名委員 <u>原口 智美</u></p> <p>署名委員 <u>小高 淑美</u></p>	